

⚠ 注意

- ❌ 水滴や埃が付着した状態で使用しないでください。
火災や故障の恐れがあります。必ず電源をOFFにした状態で、乾いた布で拭き取ってください。
- ❌ 静電気を加えないでください。
故障の恐れがあります。
- ❌ 落下させたり、衝撃を加えないでください。
故障の恐れがあります。
- ❌ ケーブルを引っ張らないでください。
感電や故障の恐れがあります。
- ⚠ 周囲に十分なスペースを確保して設置してください。
周囲の通気が悪い場所に設置すると、製品内部に熱がこもります。火災や故障の恐れがあります。
- ⚠ 屋内で使用してください。
屋外での使用には対応しておりません。故障の恐れがあります。
- ⚠ 設置および保管は、次のような場所は避けてください。
・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなど、高温になる場所
・結露する場所
・湿気や埃の多い場所
故障の恐れがあります。

同梱品

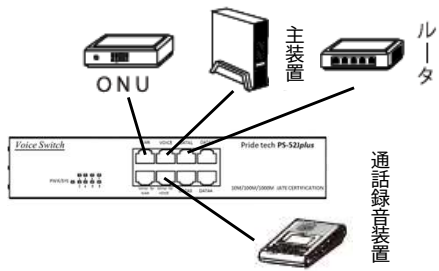
- 最初に以下のものが同梱されていることを確かめください。
- 光回線専用Voiceスイッチ(本体)
 - 電源コード
 - ゴム足
 - 取付金具、とり付け用ねじ
 - 取扱説明書(本書)
 - RJ-45 保護キャップ(2) : 装着済み

不足や不良品がございましたら、販売店または設置事業者へご連絡ください。

製品概要

本製品は、光回線終端装置ONUに接続し、音声データを優先させるVoiceスイッチです。

WANポートはONUに接続します。VOICEポートは、PBXなどの主装置に接続し、DATAポートはルータ等の機器に接続します。ミラーポートは通話録音装置等に接続し、WANポート、VOICEポートのミラーリングができます。



- ・ 伝送速度:
10Mbps/100Mbps/1000Mbps (Half-Duplex)
20Mbps/200Mbps/2000Mbps (Full-Duplex)
- ・ 適合ケーブル:
4対8芯LANケーブル(UTP/STP カテゴリ5e以上)
- ・ 低騒音設計:
FANレス

性能/規格

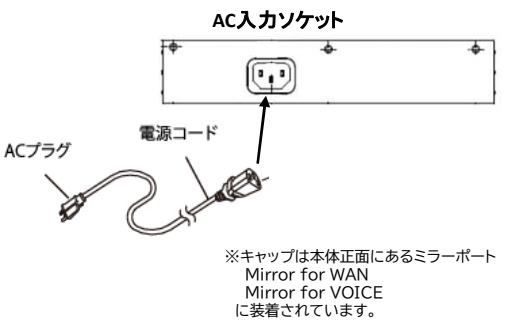
項目	性能・規格
インタフェース規格	IEEE 802.3 10BASE-T Ethernet IEEE 802.3u 100BASE-TX Fast Ethernet IEEE 802.3ab 1000BASE-T Ethernet IEEE 802.3x Flow control and Back pressure IEEE 802.3az Green Ethernet
データ送信速度	Ethernet 10Mbps: Half-Duplex/Full-Duplex Fast Ethernet 100Mbps: Half-Duplex/Full-Duplex Gigabit 1000Mbps: Half-Duplex/Full-Duplex
インタフェースコネクタ	10/100/1000BASE-T: RJ-45×8 (MDI/MDI-X自動機能付き、Auto Negotiation)
スイッチング方式	ストア&フォワード
パケット処理速度	11.9Mpps (8port, 64byte packet)
送信キュー(QoS)	VOICEポート: 完全優先キュー固定 DATAポート: 加重型ラウンドロビン・スケジューリング(WRR)
ポート定義(優先順位)	WANポート × 1 VOICEポート × 1 (優先順位高) DATAポート × 4 (優先順位低) Mirror for WANポート × 1 Mirror for VOICEポート × 1
LED表示	「PWR/SYS」(緑)×1 「1」~「8」(緑)×1 : ポート接続状態表示(Link/Act)
MACアドレス	8000 (自動学習機能付き)
電源定格	AC100V (50/60Hz)
最大消費電力	約9W
装置重量	約770g
外形寸法	W 215.5 × D 133 × H 42 (mm) : 突起物含まず
使用環境条件	0℃~50℃/湿度10~90% (結露なきこと)
保存環境条件	-40℃~70℃/湿度5~90% (結露なきこと)
EMI規格	VCCIクラスA
添付品	取扱説明書、ゴム足、取付金具、RJ-45保護キャップ(装着済み)、電源コード
適合認証番号	D23-0126001(専用通信回線設備等端末)
その他	RoHS II指令対応

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI - A

製品の組立について

本製品は、以下の2点から構成されています。
・ 本体
・ 電源コード
下図を参考に、本製品の組立をおこなった後に、他の機器やACコンセントへの接続をおこなってください。

- ① AC入力ソケットに電源コードを差し込む
- ② ミラーポートをご使用前に、キャップを取り外してください



⚠ 警告

使用中の分離はしないでください。感電の原因となります。接続しているコネクタの端子部は、通電中は高電圧となっているため危険です。分離は、必ず下記の点を確認した後に行ってください。
・ 電源コードのACプラグがACコンセントから抜かれていること。

設置場所について

- 本製品は、以下の場所を避けて設置してください。
- ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 暖房器具の近くなど、高温になる場所
 - ・ 結露する場所
 - ・ 湿気や埃の多い場所
 - ・ 製品の周囲に、換気に十分なスペースが無い場所

⚠ 注意

上記のような場所へ設置した場合、製品内部で熱がこもったりショートしたりする原因となり、故障の恐れがあります。
また、机上などに設置する場合は、本体底面に付属のゴム足を貼付けて頂くことを推奨いたします。ゴム足が本体に加わる振動や衝撃を和らげます。

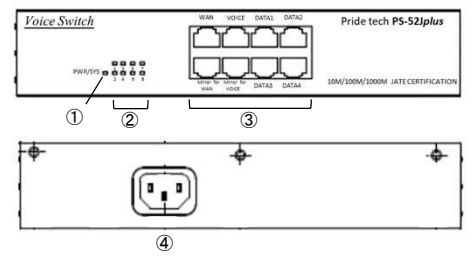
電源のON/OFF操作について

- 本製品に電源スイッチはありません。電源の操作は、必ず電源コードのACプラグにておこなってください。
- ・ 電源ON : ACプラグをACコンセントへ差す
 - ・ 電源OFF : ACプラグをACコンセントから抜く

⚠ 警告

電源コードのACプラグ以外のコネクタ部での「抜き/差し」を、電源操作の代用としないでください。感電の原因となります。

各部の名称と働きについて



箇所	名称	状態/機能
①	「PWR/SYS」ランプ (緑色発光)	点灯: 装置動作中 点滅: 装置起動中 消灯: 電源OFF
②	「1」~「8」ランプ (緑色発光)	点灯: リンク確立 点滅: データ転送中 消灯: リンク未確立
③	各ポート WAN VOICE DATA1~4 Mirror for WAN Mirror for VOICE	ネットワーク機器を接続するソケット(RJ-45)
④	AC100V入力ソケット	電源コードを接続するソケット

機器との接続手順について

- <設置時>
- ① 本装置の本体、電源コードの組立をします。
 - ② アース付きACコンセントに接続し、本製品の「PWR/SYS」ランプの点灯を確認します。
 - ③ 各ポート(RJ-45)とネットワーク機器を、LANケーブルにて接続します。
 - ④ ネットワーク機器の電源をいれます。
 - ⑤ 機器を接続したポートの「1」~「8」ランプが点灯していれば使用準備が完了しています。

- <撤去時>
- ① 本製品の電源を切ります。
 - ② 各ポート(RJ-45)に接続されたLANケーブルを抜きます。

なお、LANケーブルは、UTP/STPカテゴリ5e以上のものをご使用ください。

※ ミラーポートには、PS-52plusを通過するパケットが出力されます。不正なデータ取得を予防するには、ミラーポートにロック付きRJ45キャップをご用意ください。